



Cisco UCS 管理パック リリース 2.4

For Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2

リリース ノート

2013 年 11 月

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

目次

1	概要	1
2	システム要件	2
2.1	ハードウェア	2
2.2	オペレーティング システム	2
2.3	SOFTWARE	2
3	新機能	3
3.1	リリース 2.4.1 の新機能	3
3.1.1	プリセット オブジェクトの検出、規則および監視	3
3.2	リリース 2.4.0 の新機能	3
3.2.1	タイミングの最適化	3
3.2.2	新しいアラート	3
3.2.3	その他のアラート ビュー	4
4	アップグレード	4
5	解決済みの警告	4
5.1	リリース 2.4.0 の解決済みの警告	4
6	未解決の問題	5
6.1	リリース 2.4.0 の未解決の問題	5

1 概要

このマニュアルでは、Cisco UCS 管理パック リリース 2.4 for System Center Operations Manager 2007 R2 の新機能、システム要件、警告について記載しています。

注: 元のドキュメントの発行後に、ドキュメントを更新することがあります。マニュアルのアップデートについては、定期的に Cisco.com で確認してください。

2 システム要件

Cisco UCS 管理パックをインストールするには、ご使用のコンピュータが次の最小システム要件を満たすか、それ以上でなければなりません。

2.1 ハードウェア

- プロセッサ アーキテクチャ: x64 または x86 でも可
- メモリ: 4 GB 以上
- ディスク領域: 10 MB
- ネットワーク接続: 1 MB/秒以上の速度

2.2 オペレーティング システム

- 次のオペレーティング システムの 32 ビットと 64 ビット バージョンがサポートされます。
 - Windows XP
 - Windows Vista
 - Windows Server 2003
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2008 R2
 - Windows 7
- 上記のすべてのオペレーティング システムに最新のサービス パックがインストールされている必要があります。

2.3 Software

- Windows インストーラ 3.1 以降
- Windows PowerShell 2.0
- .NET Framework 3 以降
- Microsoft XML コア サービス 6.0(最新のサービス パック)
- Operations Manager 2007 R2 コンソール(CU5 以上)

3 新機能

3.1 リリース 2.4.1 の新機能

3.1.1 プリセット オブジェクトの検出、規則および監視

すべての UCS コンポーネントが、管理パック ユーザに等しく必要ではないため、特定の UCS コンポーネントのセットでは、オブジェクトの検出はデフォルトでイネーブルになっています。残りのコンポーネントでは、オブジェクトの検出はデフォルトでディセーブルになっており、これらは必要に応じて、ユーザがイネーブルにできます。

また UCS インベントリはほとんどの場合、頻繁に変更されないため、デフォルトのオブジェクトの検出間隔は、最長で 24 時間にまで延びています。

同様に、規則と監視間隔も、18 分にまで延びています。

詳細については、Cisco UCS 管理パックのマニュアルを参照してください。

3.2 リリース 2.4.0 の新機能

3.2.1 タイミングの最適化

- UCS からアラート データをポーリングする間隔は 5 分に短縮されます。これは、以前のリリースでは 10 分でした。Operations Manager は、以前より早くアラートを表示します。

3.2.2 新しいアラート

以下のアラートがデバッグを支援するために新たに追加されました。

- **UCS login Authentication Failure**
このアラートは、ユーザが提供したクレデンシャルが正しくない場合に記録されます。aaaLogin でエラーが返ってくる結果として検出されます。
- **UCS Connectivity Failure**
このアラートは、UCS が 10 ~ 15 分間、継続的に使用できない場合に記録されます。このアラートは、UCS が使用不能であることを検出するのに役立ちます。これは、UCS のダウンまたはその他のネットワークの問題が原因である可能性があります。

- **Notification Channel Configuration Error**
このアラートは、ユーザがエラーを確認したが、コマンド通知チャンネル オプションを正しく設定していない場合に記録されます。通知チャンネル コマンドの引数はこのバージョンで変更されており、ユーザが引数を変更していない場合に、このアラートで警告します。
- **Acknowledging Fault with Read-Only privileges**
このアラートは、読み取り専用権限を持つユーザがアラートを確認した場合に記録されます。管理者権限を持つユーザだけアラートを確認できます。

3.2.3 その他のアラート ビュー

- 既存の管理パック クラスのいずれにも当てはまらない障害は、その他のアラート ビューに分類されます。これらのアラートは管理パックの以前のバージョンにはありませんでした。

注: パス パラメータはこれらのアラートでは利用できません。

4 アップグレード

Cisco UCS 管理パック リリース 2.4.1 は Cisco UCS 管理パック リリース 2.4.0 からのアップグレードをサポートしています。セットアップをアップグレードするには、次に示す手順に従ってください。

- 1) [Operations Console] > [Authoring] > [Management Pack Templates] > [Cisco Unified Computing System] を選択します。
- 2) 手順 3 ~ 4 を繰り返して既存の UCS インスタンスを管理パック リリース 2.4.1 にアップグレードしてください。
- 3) UCS インスタンスを右クリックします。[Properties] を選択します。
- 4) [Url] タブで [Test Connection] をクリックします。正常に接続されたら、[OK] を 2 回クリックします。
- 5) これで各 UCS インスタンスは UCS 管理パック 2.4.1 を使用します。
- 6) 新しい UCS インスタンスを追加すると、管理パック 2.4.1 が使用されます。

5 解決済みの警告

5.1 リリース 2.4.0 の解決済みの警告

- [Add Monitoring Template Wizard] ページに [Test Connection] ボタンの場所が表示されません。(CSCtz40405)
- 読み取り専用権限を持つユーザがエラーを確認しようとすると、SCOM にアラートが発生します。(CSCtz39899)
- ファブリック インターコネクト障害アラートは UCS 接続障害アラートに置き換えられています。このアラートは、UCS に接続しようとして 5 分間に 3 回連続失敗した場合に記録されます。
- SCOM のキャッシュの古いエラーは UCS 接続がダウンしている間に廃棄されます。これにより、UCS 接続がダウンしている間、古いエラーを保持し続けることがなくなります。したがって SCOM に既存のアラートが残っている間、それらの反復回数は増えません。

6 未解決の問題

6.1 リリース 2.4.0 の未解決の問題

- 双方向通信は、SCOM コンソール、管理サーバ、Cisco UCS 管理パックがマシンにインストールされている場合にのみ動作します。これは、次のリリースで対処される予定です。
- 優先アラートの重大度はサポートされません。そのためのサポートは新リリースで追加されません。
- 各アラートの詳細なナレッジ ベースはこのリリースでは使用できません。そのためのサポートは新リリースで追加されます。
- UCS でイネーブルされたリダイレクトによる HTTP 接続は動作しません。これは、次のリリースで対処される予定です。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>